

# Mokutaiikyō

# 木耐協

# マンスリーレポート

2024.12  
vol.  
312



1. 「震災ミュージアムKIOKU」 2. 震災遺構「旧東海大学阿蘇キャンパス1号館」 3. キャンパス前に表出した断層

**特集** **ぼうさいこくたい**  
**2024 in 熊本**  
**& 創造的復興ツアー**  
**誌上レポート**

**今号の表紙** 「旧東海大学阿蘇キャンパス」(熊本県阿蘇郡南阿蘇村)は、2016年熊本地震の震災遺構の「1号館」・「地表地震断層」と、2023年8月にオープンした「震災ミュージアムKIOKU」(展示施設)で構成されています。KIOKUでは、震災遺物の展示やシアター・ジオラマを通して地震や防災を学ぶことができ、自然と人との共生のあり方についても考えることができます。ぼうさいこくたい翌日、「創造的復興見学ツアー」で本施設を訪れました(詳細はP3に掲載)

写真：事務局スタッフ撮影  
URL：<https://kumamotojishin-museum.com/kioku/>  
熊本地震 震災ミュージアム「KIOKU」



# 熊本地震「創造的復興見学ツアー」

10月21日(月)

熊本地震「創造的復興見学ツアー」は、被災状況や創造的復興の取組状況を間近でみられる「令和2年7月豪雨(人吉・球磨方面)」「熊本地震(阿蘇方面)」の2つのツアーを企画しました。その内、「熊本地震」コースに事務局・渥美が参加しました。震災の年以來8年ぶりに訪れましたが、今回のツアーで復興が進んでいること、ガイドや語り部、震災遺構や体験展示施設によって当時を知らない世代などに防災や土地の歴史を知る機会を作っていることが分かりました。

熊本城は、天守閣の復旧は終了したものの、全体の復旧完了は15年延長され2052年度となるそうです。「創造的復興」はこれからも続きます。

震災遺構やミュージアムを見て回るツアー

## 旧東海大学阿蘇キャンパス／震災ミュージアムKIOKU

つづいて阿蘇方面へ。車窓は外輪山の深い緑の景色が広がります。震災遺構「旧東海大学阿蘇キャンパス」は、表層断層と、被災した鉄筋コンクリート造りの旧1号館で構成されています。ひずみ解消のため1棟だった建物を4棟に分離。真ん中の棟は補強していなかったため、ひび割れなど被害が目立ち、左右の棟はブレースがあり被害が軽微な様子が分かりました。また、震災ミュージアムKIOKUでは、当時を振り返る映像やジオラマを使ったガイドによる分かりやすい解説を受けました。

## 布田川断層帯

最初に立ち寄ったのが、「布田川断層帯」。2方向の地震断層(共役断層)がV字に現れた場所として天然記念物ともなっています。傾いた民家とともに保存・展示され、断層のずれの大きさを体感できました。



▲KIOKUでガイドの野木さんから説明を受ける



▲震災遺構「旧東海大学阿蘇キャンパス」を見て回る



▲布田川断層帯が下に通る傾いた納屋。灰色の支柱は後から足されたもの。



▲熊本市と南阿蘇村を結ぶ新阿蘇大橋は復興のシンボル



▲学生アパートの大家だった竹原さんから当時の話を聞く

## 数鹿流崩展望所／旧阿蘇大橋／新阿蘇大橋

熊本地震で発生した最大級の斜面崩壊が起きた数鹿流崩。その反対側には、崩落した旧阿蘇大橋の一部の橋げたが遺構として残っています。そのまま下流に目を移すと、2021年に開通した新阿蘇大橋(全長525m)がありました。断層をまたぐため、今後の大規模地震ですれでも落ちにくく復旧しやすい構造になっています。

## 旧長陽西部小学校教室／昼食・語り部講話

旧長陽西部小学校教室(震災伝承館「轍」)で昼食の弁当をいただきました。地元食材を使って真心のこもった弁当を作られたのが、語り部の竹原さん。竹原さんは震災当時学生アパートの大家であり、深夜に起こった熊本地震の本震での学生の救助やその後の被災生活のお話をされました。今は数年前にできたIT専門学校の学生サポートをされています。

参照:「南阿蘇村 熊本地震震災遺構ガイドマップ」の地図

「ぼうさいこくたい2025」は新潟県(2025年9月6日・7日)で開催予定

来年は、新潟でお会いしましょう!

特集

# ぼうさいこくたい2024 in 熊本 & 創造的復興ツアー 誌上レポート



▶内閣府主催で開催される日本最大級の防災イベント「ぼうさいこくたい」が、2016年に発生した熊本地震から8年目となる熊本で開催されました。熊本地震では震度7の地震が2度発生し、震災関連死が直接死の4倍を超え、81-00住宅にも大きな被害をもたらしたことで、その後の地震対策に大きな影響を与えました。「ぼうさいこくたい」と、震災遺構を巡る「創造的復興ツアー」の様子を特集します。

文:伊藤健三/渥美寿子

## ぼうさいこくたい2024 in 熊本

10月19日(土)・20日(日)



防災に関心を持った老若男女様々な来場者で場内もセミナーも活況!

通路が見えないほどの人出



熊本県知事・市長、くまモンも参加!



▶オープニングセッションでは「くまモン」と「熊本城おもてなし武将隊」が会場を盛り上げ立ち見もできました

### 開催概要

日時……10月19日(土)・10月20日(日)  
会場……熊本城ホール、熊本市国際交流会館、花畑広場  
主催……防災推進国民大会2024実行委員会(内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議)  
協力……熊本県・熊本市

過去最多となる400を超える官民さまざまな団体が展覧

9回目となる「ぼうさいこくたい」は年々出展者が増加し、防災への関心の高さが伝わってきます。木耐協も3回目の出展ということで、本イベントでお会いする他団体や過去に講演を依頼した先生とのつながりが深まっています。



▲屋外も電気自動車を災害時の電源とするブースなどで賑わっていました



▶消費者向けオンラインセミナー等でお世話になっている(社)防災教育普及協会様も出展

出展者が交流する「大交流会」



▲全国大会でご講演いただいた跡見学園女子大学の鍵屋教授。こうした交流を通じて木耐協の認知度向上に務めています。木耐協は「耐震化で地震大国を地震耐国にしたい」と宣言しました

木耐協は81-00住宅の耐震化をPR



▲木耐協ブースでは耐震年表を中心に掲示を行い、木造住宅の耐震化の必要性を訴えました



木耐協  
あ・れ・こ・れ  
寄稿

# 小野秀男理事長が 国土交通大臣表彰を受賞！



**今** 年10月の住生活月間功労者表彰において、木耐協の小野秀男理事長が「国土交通大臣表彰」を受賞されました。10月5日（土）に香川県高松市のサンメッセ香川で開催された住生活月間中央イベントの記念式典において、表彰状を贈呈されました。おめでとうございます！

小野理事長は、1995年の阪神・淡路大震災後に組合を発足。耐震が一般的ではなかった時代から、事業者向けに耐震の講習会や研修会を開催し、消費者向けには市民講座やマスコミへの取材協力など行ってきました。約30年間に亘って耐震診断・補強の重要性を訴え続け、今なお耐震リフォーム市場をけん引されています。



約30年前の阪神・淡路大震災直後に、埼玉県の、いち建設会社の営業部長として被災地入りし、被害の悲惨さに驚愕しました。その年で退職し、木造住宅の耐震性向上のための会社を興し、組合を作りました。今日まで、活動を続けてこられたのは、組合員様をはじめとした同志の皆様のお陰と心から感謝しています。しかし、「地震によって自宅に殺される人を0にする」というミッションは完遂しておりません。これからも皆様の力添えを宜しくお願いいたします。

## 小野秀男のご紹介

- 埼玉県出身、1956年生まれ
- エイム株式会社 代表取締役
- 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合 理事長
- 1998年 木造住宅耐震補強推進協議会を設立
- 1999年 建設大臣認可を受け、日本木造住宅耐震補強事業者協同組合（木耐協）として組織変更
- 「耐震技術認定者講習会」を通じた事業者の技術力養成や、一般消費者向けの「市民講座」を通じて啓発活動を実施。NHK、テレビ朝日「報道ステーション」などのテレビ取材対応なども行う



2024年 12月号 第36回

お問い合わせの多い耐震の質問にお答えします！

## 木耐協 技術部の技術通信

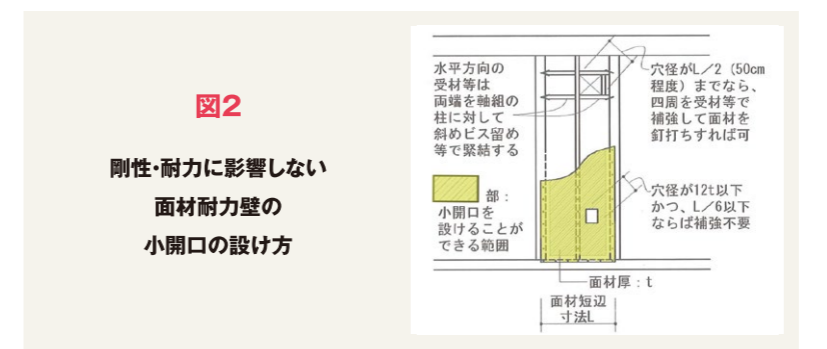
耐震に関する相談や質問について、技術的な根拠となる資料を元に回答しております。本紙面で以前掲載した内容から特にお問い合わせの多い質問事項について、木耐協「技術向上委員会」の見解も交えてご紹介します。

**Q** 補強工事を実施しようとしている壁に換気扇やコンセントボックスなどがあり、やむを得ず穴を開けて補強する場合の注意事項を教えてください。

**A** 無開口壁の壁基準耐力は面材に穴が開いていないことが前提のため、1枚の面材の中で穴が開けられる範囲・穴の大きさ・穴を開けた箇所への面材の補強の必要性など、穴を開けても性能に支障がないのはどの程度か、といった判断が必要です。

『木造軸組工法の許容応力度設計』に掲載されている穴開けに関する指針をご紹介します。技術的助言1335号\*にもとづき、開口部を設けられない場合と同等以上の剛性及び許容せん断耐力を有するものとして取り扱うことができる小開口の仕様が示され、図1は筋かい耐力壁の小開口の設け方、図2は面材耐力壁の小開口の設け方の図解です。

\*国住指第1335号 「建築物の安全性の確保を図るための建築基準法等の一部を改正する法律等に関する構造関係告示の施行について（技術的助言）」



出典：  
「木造軸組工法の許容応力度設計」  
(2017年改訂版)



今月のテーマ

## 壁補強工事における 面材の穴開けに関する 考え方

今月のポイント

無開口壁の穴開けは  
耐力に支障がない範囲で行う

判断には書籍「木造軸組工法の許容応力度設計」が参考になる

木耐協技術部 | 駒井隆広

埼玉県生まれ。2級建築士。2012年より木耐協の技術担当。耐震技術認定者講習会や耐震診断・補強設計研修会など組合の研修で講師を務める。

技術的な質問や相談をお送りください

Mail [mts@mokutaikyo.com](mailto:mts@mokutaikyo.com)

Tel 048-224-8316 (木耐協事務局)

# 事務局長が行ってきました!

不定期連載  
No.16

これまであまりお伝えしていなかった木耐協事務局の活動裏話をお届けします

## ▶ 京都府建築士会 / 総合研修で講演しました

京都府建築士会からお声がけいただき、同会が10月3日(木)に京都建設会館別館とオンラインのハイブリッドで開催したセミナー、「すべての建築士のための総合研修『能登半島地震の教訓を未来の建築へ』」で講演を行いました。

基調講演として京都大学防災研究所の牧教授が「京都の地震防災対策 / 令和6年能登半島地震をふまえて」を講演され、次いで木耐協は「木造住宅の耐震について / 具体事例紹介と調査データ分析」をテーマに鈴木顧問と関が講演をいたしました。現地で約25名、オンラインで約40名が参加されており、耐震化への関心の高さがうかがえるセミナーでした。

また、終了後には京都府建築士会の皆様と懇親会。耐震化や補助制度の現状、昨今の京都の状況等、いろいろな話で盛り上がりました。



▲京都府建築士会セミナー会場



▲京都大学 牧教授



▲木耐協 鈴木顧問

▲懇親会后に記念撮影

## ▶ 住宅リフォーム事業者団体登録制度 構成員向け 4号特例セミナー



▲国土交通省住宅局  
藤原健二推進官による講演

▼住宅リフォーム推進協議会  
城所事務局長が挨拶



住宅リフォーム事業者団体登録制度の連絡会主催で「木造戸建の大規模なリフォームに関する建築確認手続きについて」のセミナーを10月17日(木)にエッサム神田ホール(東京都千代田区)で開催。当日は司会を担当しました。本セミナーもハイブリッド開催で会場は約20名でしたが、オンラインでは500名を超える方が視聴されました。2025年4月からの法改正に向け、特に大規模リフォーム時の詳細に関する情報を求めている方が多いことが分かります。

木耐協では12月3日(火)の組員全国交流会in東京で、同内容を国土交通省の方にお話しいただきます。そちらもぜひご参加ください。

## ▶ リ推協 住宅の長寿命化リフォームシンポジウム

住宅リフォーム推進協議会が毎年開催する「住宅の長寿命化リフォームシンポジウム」が、10月15日(火)に秋葉原のアカバホール(東京都千代田区)で開催され、会場には約60名、オンラインで約300名が聴講していました。今回は省エネ・断熱・健康温熱環境のリフォーム事例が紹介され、多くの方が関心を寄せていました。



▲シンポジウムの様子



木耐協事務局長  
関 励介

2002年から木耐協入り。組合運営や国・団体対応を担当。Netflix「極悪女王」にはまり。

今後も様々な動きをお知らせしますので、ご期待?ください!

### 販売改革のタイミング

時代の変革を先読みし、事業対応を余儀なくされている住生活産業界。キーワードは「商品化」「業務改革&DX」「法規制」です。法改正によって市場整備が進み、いよいよ新築住宅は性能の最低基準が設けられ、ストックビジ

ネスの下地が作られていく状況に入ってきました。市場の変化に対して事業改革が進まなければ、お客様とのミスマッチが進んでしまいます。販売無くして事業なし、と言われるようにこの機会に販売についてきちんと改革を行うように見直していきましょう。

高齡化率の上昇に伴い不動産の価値にバリアフリーやユニバーサルデザイン、健康というキーワードが今まで以上に出てくることも予想されます。先々に何が起るか情報をきちんと把握し、事業対応を考えることがポイントです。

No.39

# 2025年の 大変革に向けて

住宅コンサルタント清水大悟が解説!  
これから  
どうなる?  
住宅産業界

### 大変革以降の業界予測

2025年には多くの法改正、特に建築基準法の改正が業界に大きな影響を与えることは間違いありません。その先の業界はどのように展開していくでしょうか。例えば、大阪万博では最新技術が次々と発表されます。太陽光パネル・ペロブスカイト等も出てくるでしょう。太陽光発電や蓄電池といった商材は標準セットアップとして提案され、



プロフィール

清水 大悟

事業・経営コンサルティング  
清水英雄事務所株式会社  
代表取締役社長

Twitter, Instagramなど  
SNSで情報発信中



### [ポイント]

- 市場変革に対応した販売改革が必要
- 2025年の法改正の影響と対応策、その後の業界動向を把握する
- 高齡化に伴う新たな不動産ニーズについて知っておく

〒114-0011 東京都北区昭和町1-9-18 ☎03-3810-1565  
清水英雄事務所WEB > <https://au-shimizu.co.jp/>

▼住宅産業界をとりまく状況は刻一刻と動いています。人々の住まいに関わる住宅産業界として、知っておきたい時代の動きを住宅コンサルタントの清水大悟氏に解説していただきます。

サーモグラフィで  
建物の状況を可視化

# 赤外線 建物診断講座

省エネ基準適合義務化で  
危惧される新たなトラブル

2025年4月に改正建築物省エネ法が施行され、住宅や非住宅建物は省エネ基準を満たすことが義務になります。省エネ基準に適合した住宅は、断熱性能や換気性能が優れ、快適な室内環境と光熱費削減が期待できます。しかし、高気密・高断熱住宅の施工には専門的な知識と経験が求められ、不適切な施工は断熱不良や結露などの問題を引き起こす場合があります。

赤外線サーモグラフィは  
省エネ性能の立証に役立つ

この問題に対し、赤外線サーモグラフィは断熱や気密の状況を非破壊で調査し、問題点を可視化して対処できます。顧客と画像で状況を共有し、効果的な改善策の説明・提案が可能となります。

本講座では、赤外線サーモグラフィを活用した建物診断について解説いたします。第4回は、赤外線サーモグラフィをどのように断熱・気密性の診断に活用するのか説明いたします。

## 第4回

# 赤外線サーモグラフィを活用した 断熱・気密性の診断

### 赤外線サーモグラフィの断熱・気密診断事例紹介

**事例1 断熱欠損調査**

窓の上部(丸印部分)が水色の低温で断熱材が入っていないことがわかります。

**事例2 熱環境状況調査**

「洗面所が寒い」という相談を受けて調査を行ったところ、床に向かって温度が低くなっていました。原因として床断熱材の不足が疑われます。

**事例3 気密状況調査**

ダウンライト及び天井と壁取り合部が低温になっており、隙間風が確認できました。改修後も再度赤外線診断すると画像で改善状況が一目でわかります。

赤外線診断に関するご相談・お問合せはこちら

一般社団法人  
**TERS** 街と暮らし環境再生機構  
Town and living Environment Reproduction Society

担当 青木、中嶋 ※お問合せの際は「木耐協マンスリーレポートを見た」とお伝えください。  
Phone 044-201-7411 | E-mail info@ters.or.jp  
<http://www.ters.or.jp>

## 木耐協 あ・れ・こ・れ 寄稿

### 2024年度

# 木耐協組合員様アンケート報告

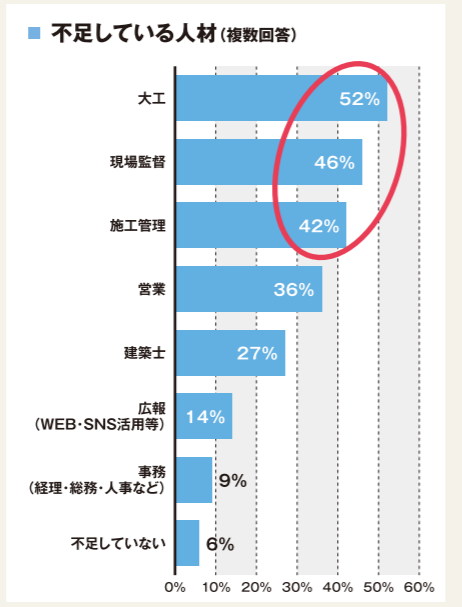
ご協力ありがとうございました！

## その2

2年に1度ご協力いただいている活動状況アンケート。2024年のアンケートでは371社の皆様に回答をいただきました。今回は、不足する人材やセミナーへの参加状況、いただいたご意見をピックアップしてご紹介します。

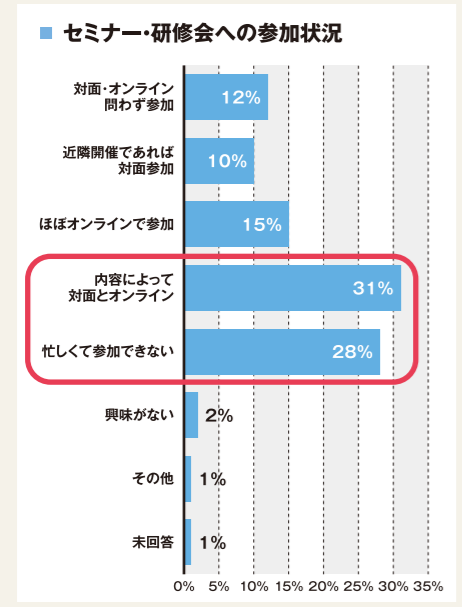
### データ1 不足する人材は、 「大工」「現場監督」 「施工管理」

建設業界で顕在化している「人材不足」について組合員様に伺ったところ、以下のような結果になりました。  
「不足していない」は371社中23社(6%)のみで、348社(94%)は「不足している」と回答。  
その内訳で多い順に「大工」「現場監督」「施工管理」となり、現場で働く人材が特に不足しているという結果となりました。



### データ2 セミナーの参加は 対面とオンラインで 適宜参加が31% 忙しく参加できないも多数

コロナ禍を経て、オンライン形式のセミナー・研修会が定着してきました。セミナーの参加状況の質問では、「内容によって対面とオンラインに参加する」(115社、31%)に多くの回答が集まりました。次いで多いのが、「忙しくて参加できない」(105社、28%)でした。「多忙と遠方を理由に講演会参加が出来ません。Webによる講演会がさらに増えるとうれしいです。」というご意見もいただいています。



### 寄せられたご意見

- 消費者が、耐震補強の重要性に気づき、問い合わせをしようと思うような仕掛けづくりや、相談会などの合同のイベントなどを行ってもらえたら、小さな会社も受注したり動きやすくなるように思う。
- いつもよくしていただいております。差別化の為に耐震事業をやっていますので、木耐協に加入しているだけでも意味があります。あとは私達が木耐協をどう活かすかだと思います。
- マンスリーレポートや情報ツール類は紙だけでなく、SNSなどで活用できるデータがあるとありがたいです。

この度はお忙しい中アンケートに回答いただき誠にありがとうございます。業界情報をどこで確認するかという質問では「木耐協のメール・マンスリーレポート」を319社(371社中/複数回答あり)に選択いただきました。大変励みになるとともに身が引き締まる思いです。今後もご要望やお悩み等ございましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。



人間の「生」を  
考えさせられる名著

Book

「夜と霧」

今号の理事長オススメはこの一冊！

147  
冊目  
『夜と霧』  
著者/V.E. フランク  
発行/みすず書房  
価格/1,500円(税別)

この本は世界的に余りにも有名で、昔から知っていました。辛い気持ちになるのが怖くて読めませんでした。ですが、勇気を出して読んでみました。  
原題は「心理学者、強制収容所を体験する」です。1905年にオーストリアで生まれたユダヤ人の精神科医フランクは、第二次世界大戦下のホロコースト(大量虐殺)で有名なポーランドのアウシュビッツや他の強制収容所で約3年に亘り収容されながらも生還しました。その収容所内部で起こった実体験を綴り1947年に出版されたこの本は、世界的名著と言われ、既に世界で900万部を越えています。  
文中では、意識的に出来るだけ感情を交えず、起きている事を淡々と書き連ねているので、かえってその悲惨さが浮き彫りになります。被収容者が受ける数々の虐待や過酷な労働によって、ガス室に送られなくても次々に人が死んでいく状況に対し、ナチ親衛隊や彼らに取り入った者たちの、同じ人間として何故そこまで出来るのか?というほどの仕打ちには、読みながらも胸が痛くなりま



す。これは小説ではなく現実に起こったことだと改めて思いかえすと、究極の人間の姿を見せられて「人間とは何か?」「生きるとは何か?」を深く考えさせられます。  
今が辛い人はたくさん居ると思います。単純に比べられるものではないかもしれませんが、それでもここでの生活に比べれば、今はなんと幸せな日々でしょう。  
2023年に自殺した人は2万1818人とピーク時(2003年)の3万4427人より減ったとはいえ、世界的にみても日本は自殺の多い国です。毎日のように人身事故によって電車が止まっています(いつからこういふ言い方をする様になったのでしょうか)。自殺は本人の近い人や周りの人間を深く傷つけ、一生悔恨を残します。改めて今が辛い全てのの人に、この本を読んでほしいと思いました。

事務局通信

●編集後記●  
今年も4回の消費者向けオンラインセミナーを開催しました。土曜日の午前中ですが、各回140人から最大300人の方が視聴してくださっています。地道な活動ではありますが、継続することで少しずつリーパーが増え、木耐協の認知度が上がっていると信じています。このセミナーは皆様の自社イベントとしても活用いただけます。来年も開催予定ですので、ぜひご活用ください！  
(関)

第27回全国大会 講演者2名が決定!

来年の全国大会は能登半島地震から1年、阪神・淡路大震災から30年の節目となります。講演者が2名決定しました。皆様のご参加をお待ちしております。

日時: 2025年1月9日(木) 13:30~(終了後、賀詞交歓会)  
会場: 富士ソフトアキバプラザ アキバホール(秋葉原)  
※時間等に変更になる場合がございます。

講演者: 団長安田氏(お笑いトリオ「安田大サーカス」)  
20歳の時に阪神・淡路大震災に遭い、親友を亡くされた経験をもつ  
関谷直也氏(東京大学情報学環 総合防災情報研究センター センター長)  
防災、災害情報等の調査・研究を行う専門家



▲団長安田氏



全国大会  
ページ

木耐協『サービスガイド』(暫定版)を公開!

木耐協組合員様が利用できる木耐協の研修会やサービス、メーカー賛助会員・提携企業のサービス内容をまとめた『サービスガイド』(暫定版)を作成し、10月~12月初旬に開催した「全国組合員交流会」参加者に先行配布いたしました。組合員専用ページでぜひご確認ください。



組合員様  
専用ページ



発行●国土交通大臣認可法人 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合  
発行人●小野秀男 編集●関 励介、伊藤健三、渥美寿子  
所在●東京都千代田区麹町2-2-31 麹町サンライズビル4階 tel 03-6261-2040 fax 03-6261-2041

木耐協メーカー賛助会員様からのご案内

一般社団法人 日本ライフスタイル協会 認定講座



「マンションリノベーションアドバイザー」は、マンションの構造や設備、法的規制、施工に関する諸問題などについての知識を習得し、顧客が安心して計画が進められるようアドバイスできる専門家です。  
顧客に相対するリノベーション業務従事者は、マンション特有の規制である区分所有法や管理規約、キッチンや水回りの配置で重要となる配管やダクトの通し方、電気・通信設備など、一戸建住宅とは異なるさまざまな諸条件がある中で、顧客の夢をいかに実現していくか、的確な対応と提案力が求められてきます。  
マンションリノベーションアドバイザー資格認定制度は、マンションリノベーションの相談・提案業務に携わる方の知識の向上を目的としており、顧客の相談に応じるスキルを持っているかを判定し、一般社団法人日本ライフスタイル協会が資格認定する制度です。

定員 各回40名 ※早期に満席となることがありますのでお早めにお申し込みください 受講料(1名) 22,000円(税・教材費込)

Table with 2 columns: Course/Date and Location/Date. Includes courses for Osaka, Tokyo, and Sendai.

カリキュラム

Table with 2 columns: Time and Implementation Content. Details the lecture topics and exam.

講師



永元 博氏

株式会社住宅価値創造研究所 代表  
マンションリノベーション推進協議会技術委員会委員、  
東京都立城南職業能力開発センター講師ほか

使用教材



マンションリノベーション  
実践知識(専有部分編)  
ハウジングエージェンシー刊  
永元博著 定価3,300円(税込)  
※受講料に含まず

お問合せ ハウジングエージェンシー資格・検定センター 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-16-6 森正ビル TEL: 03-6908-9881 (土・日・祝日・年末年始を除く、10:00~17:30) Email: kentei@housing-a.co.jp  
公式サイト https://www.lifestyle.or.jp/(一般社団法人 日本ライフスタイル協会)

# 組合員さん

# こんにちは！

事務局員がおじゃまします

## 安心ホーム計画 株式会社様

埼玉県川口市



Instagramに掲載されている施工事例



代表取締役  
阿部 誠様

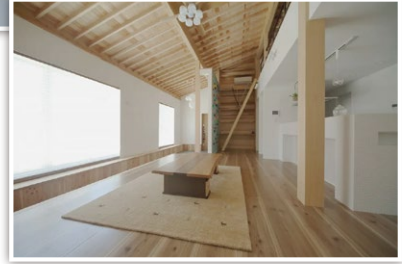
壁補強工事の  
施工事例



埼玉県建築士事務所協会から  
表彰されました



ZEHで快適に暮らす「安心の家」



### 耐震の技術が集客や 他社との差別化に

木耐協の技術向上委員会の委員としても活動されている安心ホーム計画のホームページは、『耐震診断・改修工事』のコンテンツが充実しています。耐震診断の基準や改修工事の事例だけでなく、お客様から様々な質問に答えるFAQがあります。「職人さんが手抜きとかしないの?」という質問には、

「見えなくなる工事が多いので不安になるのは当然です。専属の大工が工事を行い、全箇所の写真をお渡ししますのでご安心下さい。」とおお客様の不安に寄り添い、その不安を解消する対応を明記されています。ホームページの文体からもお客様目線で対応される人柄が伝わってくるページとなっています。

「工事をご依頼いただいたきっかけを尋ねると、『ホームページに耐震のことがしっかり書かれていたので信頼した』というお声をいただくことがあります。耐震補強工事をしないお客様にも、耐震の実績があることが他社との違いやPRポイントになっていると感じています。」と、阿部社長。耐震の技術力が他社との差別化につながり、集客にもつながっているそうです。

「ZEH住宅にも10年以上前から取り組まれ、耐震だけでなく省エネ・断熱の設計・施工についても高い技術力を誇ります。『最近の資材や輸送コストの高騰に加えて、土地の価格上昇も大きく、注文住宅は手が出にくい時代になったと感じています。様々な法改正には対応しつつ、お客様の要望に寄り添った住まい作りを続けていきたい。』と今後の展望を語って頂きました。」

### Instagramで 事業内容やコラムを投稿

安心ホーム計画のInstagramでは、戸建てのリフォーム事例だ

明るい笑顔で出迎えてくれる阿部社長にはいつも元気をもらっています。数多の資格も保有される勤勉な姿勢に驚かされます。2025年以降に控える耐震診断法の改正など技術委員としても頼りにしています。

(事務局：  
家富)



木耐協マンスリーレポート  
2024年12月号Vol.1312

発行：国土交通大臣認可法人日本木造住宅耐震補強事業者協同組合  
発行人：小野秀男 編集：関戸介、伊藤健三、瀧美寿子

東京都千代田区錦町2-2-31 麹町サンライズビル4階  
Tel: 03-6261-2040 Fax: 03-6261-2041